

<b>研究課題名</b> COVID-19 クラスタに遭遇した高齢者関連事業所の平時の取り組みによる感染症対策の違いと保健所が行うべき支援方針
<b>研究責任者名</b> 医系科学研究科地域保健看護開発学 職名 教授 氏名 中谷 久恵
<b>研究期間</b> 2023年6月9日～2024年3月31日
<b>対象者</b> 広島県内の高齢者関連事業所のうち、広島県健康福祉局（担当者岡田奏子）からの依頼を受けて任意で「高齢者関連事業所等における COVID-19 感染症対策に関する調査」に回答していただいた施設職員の方です。
<b>意義</b> COVID-19 感染拡大（第6波）では、オミクロン株の蔓延により高齢者関連事業所において多数のクラスターが発生し、中等症・重症以外は高齢者であっても自宅や入所施設等で療養する事態が発生しました。平常時から施設職員への教育的働きかけを行うことが、感染症集団発生時の蔓延防止対策の実践につながると考えられます。 そこで、本研究では、高齢者関連事業所等のマニュアル作成や研修・勉強会参加状況等の平時の取り組みにより、職員の COVID-19 を含む感染症に関する知識技術、感染症対策の実践行動の違いについて明らかにすることを計画しております。
<b>方法</b> 本研究は、広島県健康福祉局実施のアンケート調査結果を、広島大学が受け取り、解析を広島大学が主機関として実施します。広島県健康福祉局および東部保健所は分析結果の解釈・意見を担当します。匿名のアンケート調査ですので個人を特定する個人情報には譲渡されず、解析にも使いません。
<b>共同研究機関</b> 広島県健康福祉局 職名：技師 氏名：岡田奏子他 広島県東部保健所 職名：広島県東部保健所長 氏名：福田光
<b>試料・情報の管理責任者</b> 広島大学 職名：教授 氏名：中谷久恵
<b>個人情報の保護について</b> 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して取り扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
<b>問合せ・苦情等の窓口</b> 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 研究代表者 広島大学医系科学研究科地域保健看護開発学 教授 中谷久恵 研究担当者 広島大学大学院医系科学研究科博士課程後期 大学院生 井上ゆりこ 電話番号：082-257-5390（中谷）、5392（井上） 電子メール：hinakata@hiroshima-u.ac.jp（中谷） d221256@hiroshima-u.ac.jp（井上）

研究機関：広島大学